

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 05-112984

(43)Date of publication of application : 07.05.1993

(51)Int.CI. E04B 1/18

(21)Application number : 03-333818

(71)Applicant : TABAI ESPEC CORP
FUDO CONSTR CO LTD

(22)Date of filing : 18.10.1991

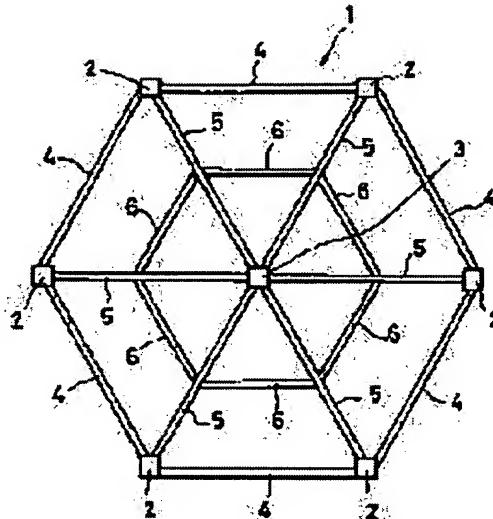
(72)Inventor : FUTATSUKA MITSUYOSHI
SOGO ISAO

(54) REGULAR HEXAGONAL BUILDING

(57)Abstract:

PURPOSE: To raise the safeness of a regular hexagonal building, particularly safety to horizontal forces such as earthquake.

CONSTITUTION: Columns 2 are erectly set on each top of a planar hexagonal form and a column 3 is set on the central position. Main beams 4 and 5 are also set between the adjacent columns 2 and between each column 2 and the column 3, in such a way as to form a frame as a regular triangular assembly in the horizontal direction by the main beams set between the columns. The rigidity in the horizontal direction can thus be increased, particularly safety to the horizontal force can be improved.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination] 12.05.1998

[Date of sending the examiner's decision of rejection] 28.11.2000

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平5-112984

(43)公開日 平成5年(1993)5月7日

(51)Int.Cl.⁵
E 04 B 1/18

識別記号 庁内整理番号
A 7121-2E

F I

技術表示箇所

審査請求 未請求 請求項の数1(全2頁)

(21)出願番号 特願平3-333818

(22)出願日 平成3年(1991)10月18日

(71)出願人 000108797

タバイエスペック株式会社

大阪府大阪市北区天神橋3丁目5番6号

(71)出願人 000236610

不動建設株式会社

大阪府大阪市中央区平野町四丁目2番16号

(72)発明者 二塚 光善

兵庫県西宮市高須1-1-14-815

(72)発明者 十河 繁

大阪府大阪市中央区平野町四丁目2番16号

不動建設株式会社内

(74)代理人 弁理士 染谷 廣司

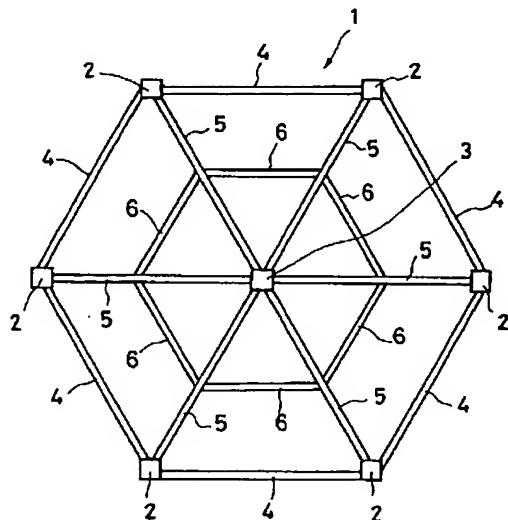
(54)【発明の名称】 正六角形建物

(57)【要約】

【目的】正六角形建物の安定性、特に地震力等の水平力に対する安定性の増大。

【構成】平面形状正六角形の各頂点の位置に柱2を、また、中心の位置に柱3を立設し、隣接の柱2、2間と各柱2と柱3間にそれぞれ主梁材4、5を架設した。

【効果】柱間に架設された主梁材により水平方向に正三角形の集合体である架構が形成され、水平方向の剛性が大となり、特に、水平方向の力に対する安定性が良好。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 平面形状が正六角形で、その各頂点と中心の位置にそれぞれ柱を立設し、隣接する頂点位置の柱の間、および各頂点位置の柱と中心位置の柱との間に、それぞれ主梁材を架設したことを特徴とする正六角形建物。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】 本発明は、平面形状が正六角形の建物に関するものである。

【0002】

【発明の背景】 従来の工場等の建物は、平面形状が方形のものが殆どであるが、平面形状を正六角形にすると、建築面積を同じとして、側壁の総面積が比較的小さくて壁面積を節約できる、連設する場合に採光のための窓を多くとることができ、構造物としての安定性もよい、等の利点がある。

【0003】

【発明の目的】 本発明は、前述のような利点がある正六角形建物の安定性、特に地震力等の水平力に対する安定性の増大を目的としているものである。

【0004】

【発明の構成】 本発明の正六角形建物の構成上の特徴は、平面形状が正六角形で、その各頂点と中心の位置にそれぞれ柱を立設し、隣接する頂点位置の柱の間、および各頂点位置の柱と中心位置の柱との間に、それぞれ主梁材を架設した点にある。

【0005】 前記特徴とする構成から明らかなように、本発明の正六角形建物では、柱間を結ぶ主梁材により水平方向に6つの正三角形の集合体である架構が形成されるので、平面の剛性が大となる。

【0006】

【実施例の説明】 本発明の一実施例の水平断面図である図1において、建物1は平面の形状が六角形で、その各頂点と中心の位置にはそれぞれ柱2、3が立設され、また、隣接の柱2、2の間、および各柱2と柱3との間に、それぞれ主梁材4、5が架設され、これら主梁材4、5により水平方向に6つの正三角形の集合体である架構が形成されている。

【0007】 なお、6は主梁材4に平行に設けた副梁材であり、その両端は主梁材5に連結されている。

【0008】 また、各柱2と柱3の立設位置にはそれぞれ独立基礎(図示しない)が設けられ、これら独立基礎間に平面的に主梁材4、5と重なるように地中梁(図示しない)が設けられている。

【0009】 以上のような建物1は、独立構造物としても有用であるが、その複数個を予め連設したり、あるいは増設により連設してもよく、この連設の場合、隣接の建物1、1は正六角形の一辺の両端に位置する柱2、2を共有する形になる。

【0010】

【発明の効果】 本発明の建物は、以上のようなものであって、各頂点位置と中心位置に柱が立設され、かつ、柱間に架設した主梁材により水平方向に6つの正三角形の集合体である架構が形成されているので、水平方向の剛性が大となり、安定性、特に地震力等の水平力に対する安定性が極めて良好である。

【図面の簡単な説明】

【図1】 本発明の一実施例の水平断面図である。

【符号の説明】

1：建物、2、3：柱、4、5：主梁材、6：副梁材。

【図1】

